広報 あそう

7月15日
No. 199

発行所　麻生町1561－9　麻生町役場
発行人　電話②0811㈹　小沼幸蔵
印刷所　麻生印刷

〈人口〉

男	8,852人
女	9,113人
計	17,965人
世帯数	3,858戸

7月のメモ

1日　天王崎水泳場開き
1～6日　就業構造基本調査
3日　郷土文化研究会
15日　老人クラブ会長会議
15～16日　農業所得標準協議会研修
16日　農産物改良協総会
15～17日　教育委員研修
18日　天王崎モデル撮影会
18～20日　空中防除
20日　町議会
23日　戸籍互審会
25日　しじみ取り大会
26～29日　生産調整実施田調査
27日　青少年相談員会議
31日　固定資産税徴収

すくすく育て フラワーロード

「水と緑のまごころ国体」49年茨城国体は、本格的に走りだした。

これを機会に、まごころの輪をひろげよう。

その一つは美しい環境をつくること。

地域、職場、家庭で花のある美しい環境つくりをおこない新しい町づくり運動として「花とほうきの県民運動」が県全体で進められていを

6月22日、青年団の手によって舟子から麻生の県道沿いに、「マリーゴールド」が植えられ、7月7日に「サルビア」を、合わせて1万本植えられた。

植えられた花は、雑草にまけそうだ。これを沿道にいる人をはじめ、みんなの「まごころ」で美しく咲かせよう。

こうして広がる「まごころの輪」が、49年茨城国体で花ひらき、それをそのまま、水と緑の美しい環境の中に育てていきましょう。

参議院選挙
投票率六〇・三%

六月二十七日おこなわれた参議院議員通常選挙は、全国の全国区投票五六・四五パーセント、茨城県は五六・四六パーセントと盛り上がらなかった中で、麻生町では六〇・二五パーセント（地方区六〇・三パーセントと全国、県平均を上まわりました。

町の投票率が他とくらべて上まわった原因は、前回の知事選挙など投票率の低かった行方地区を重点に、明正選挙友の会が棄権防止運動をおこない、行方地区の投票率が行方第一投票区六〇・二パーセント、行方第二投票区六七パーセントと良い結果の出たことがあげられます。

町全体の投票率は上がりましたが、男女別に投票率を見ると男六二・九パーセント、女五七・八三パーセント（全国区）とまだまだ男女の投票率に差があることは、これからも問題として取り上げなければなりません。

地方区の立候補者別の得票数は次のとおりです。

大塚　正　二八九（四九、四一六）
中村喜四郎　二、二九八（二八三、七六五）
竹内　藤男　三、二三八（二三八、五七九）
矢田部　理　一、三四六（二二三、三四三）

※（　）の数字は、県合計

当選者は上位二名。

畜舎の消毒を
夏は病気が多発

夏になると家畜に伝染病など各種の病気が多く発生します。

現在では、豚コレラが東北地方の一部に、牛のタンソ病は稲敷郡に、鶏のニューカッスル病は鹿島町に発生していますので、家畜の衛生管理には十分に気をつけ、予防注射の完全実施、畜舎の消毒作業などはお互に協力しあって、発病を未然に防ぐよう努めてください。

また、町においては畜舎消毒用のスチームクリーナーを購入するなど防疫体制の万全に努めていますので、機械の利用その他詳細については、経済課畜産係に連絡してください。

〔善〕〔意〕

麻生幼稚園へ粗毛の荒張堯さんは傘十本、麻生の国安貞夫さんは洗剤と容器、同永作洋品店は絵本を贈りました。

麻生小学校へ麻生の小沼久男さんは「子供の日本風土記」全十巻、同石橋弘さんは砂場用砂トラック三台、同鈴木昇さんは状差、同野川久寿さんはあやめ六鉢、同内田四郎さんは温湿計、同箕輪喜清さんは教材写真、同山本増穂さんは砂場枠組材料を贈りました。

青沼老人会は麻生第一中学校へぞうきん百枚、ほうき三十本贈りました。

善意銀行へ次のかたが預託されました。

矢幡福寿会は太田小学校へぞうきん百本。

島並上老人会へ島並の松兼茂さんは五千円　同高橋祖道さんは二千円、同大里与兵衛さんは五百円、同赤井康男さんは五千円。

島並下老人会へ島並の松兼茂さんは五千円、同高橋祖道さんは二千円、同大里与兵衛さんは五百円、同赤井康男さんは五千円。

岡の長峰一さんは大和第三学区子供会連絡協議会へ五百円。

白浜成光会へ白浜の辺田徳之助、荒野貫衛、大原覚江、井上宥光さんは座卓、白浜老人クラブ会員有志は座卓三台

矢幡長寿会は麻生第一中学校へぞうきん百本。

潮来町の窪谷章さんは大和第一小学校、大和幼稚園へ錦鯉五十匹。

麻生の瀬尾録郎さんは下渕老人会へ三千円。

新宮の平塚金雄さんは大和第一小学校へ金魚三十匹。

白浜の荒張竹松さんは白浜子供会へ二千円。

宇崎の拓植俊雄さんは宇崎子供会へ一千円。

矢幡の土子進さんは渚組集会所へ食卓八台。

蔵川老和会は大和第一小学校へぞうきん八十七本、ほうき十本。

お母さんの給食

行方幼稚園では、園児のお母さんに給食の味をみてもらった。

これは六月二十五日、行方幼稚園で家庭教育学級の打ち合せがおこなわれ、この時を利用して試食会がおこなわれたものです。

園児と同じように、最初は食べかたの説明から、園児は給食の準備、食べかたなどだいぶなれたそうですが、お母さんは初めて、チョットした失敗で笑い声が出ます。

小さないすに大きなおしりをのせて、おいしい給食にお母さんがたは満足のようでした。

農業振興五カ年計画できる

生活の向上に合わせた 農業経営の設計を

麻生町農畜産物流通対策協議会では、これからの農家の生活向上を予測したうえでどのような営農改善をしたらよいか、町の農畜産物生産振興五か年計画を作成し、具体的な方針を示しました。

この計画は、農業がかってない転換期に当面し、農業をとりまく情勢がますますきびしくなり、昭和四十五年には米の過剰による生産調整がおこなわれ、麻生町では、百九ヘクタールの目標に百四十ヘクタールの生産調整に協力、本年度は二百五十七ヘクタール（一千百十四トン）の生産調整を目標とし、今後五か年計画でこの生産調整が継続されることになりました。

このような情勢の中で各種農業の対策をはかり、米作依存の農業から新しい、地域にあった農業の転換を目標として町も個々の農家も自力で立ち上る態勢づくりを示したものです。

大部分は 兼業農家

昭和四十五年度におこなわれた農業センサスを見ると麻生町の総面積は六千百十六ヘクタール、このうち水田二四・七パーセント、畑一八・九パーセント。農家戸数は、二千五百七十六戸、総戸数の六六・九パーセントとなっており、専業農家は五百七十二戸兼業農家二千四戸と専業農家より兼業農家が大部大をしめています。

耕作面積別農家数は、五十アールから一ヘクタールが二五・二パーセント、一ヘクタールから一・五ヘクタールが二四・六パーセントと半数以上の農家が一ヘクタール前後の面積を耕作しています。

地域的に産地を 出荷体制も整備

現在の町の営農は、普通作中心から一部進歩的な農家では、そ菜、畜産などの拡大が目立ち、それにつれて農業所得も急速に向上してきていますが、まだ部分的な動きなのでこれを全体的に高めることが大切です。

また、個々の農家が作目の組み立てを工夫すると同時に地域計画の中で産地を形成していくことと出荷体制を整備統一することも改善の一つです。

五年後は中位農家で 最低年三百十六万円の所得

中位の農家の家族構成は六人で、内働く人三人とみて生活費を試算してみますと、家族一人当りの支出見込額は、十六万一千円。

生活費は、年間約六パーセントの伸びをしめしているので、五年後の昭和五十年には一人二十万三千円の支出が見込まれ、この家計費を確保するためには年間百七十六万円の農業所得を得なければなりません。

中位の農家の一戸当り平均耕作面積は約一・五ヘクタールですから、これまでの普通作中心では、高度成長を続ける農家生活の必要経費をまかなうことはできません。

自家労力で 営農設計を

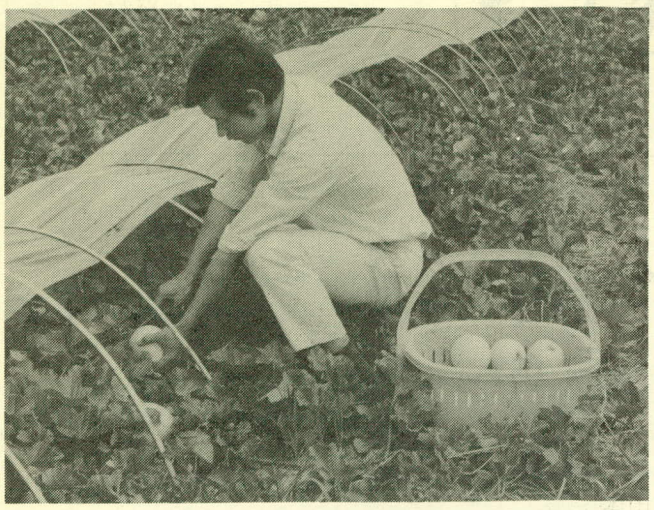
健全な家計を確立するためには、町の五か年計画の中で示している作用で、各農家にあった畜産、そ菜などを取り上げて、五年後の心要所得を目標にした営農設計を立てなければなりません。

また、現在の労力事情では他からの労力導入はむずかしく、導入できても高い賃金ですから、できるだけ自家労力でまかなうよう計画するのが良いようです。

五か年計画の指導については、町、農協、農業改良普及所が一体となっておこなうことになっていますので、これらと相談をして、地域と作目耕作面積と労力の配分など各農家にあった営農設計を立ててください。

あそうの農業

(10) メロン



麻生町にメロンが栽培され始めて、まだ日が浅く、昭和四十二年頃に繕沢地区の有志が東京市場よりの勧めで栽培されたのが始めです。

その後、農業協同組合、西園芸組合が中心となって栽培技術の研究とその普及に努力したため、現在においては、作付面積約十ヘクタール、総売上約三千万円と一躍町の特産物として大きく伸びました。

夏の味覚としてメロンは最高ですし、生活の向上にともない需用の増加も見込まれるため、これからも町の特産物として最も有望視されています。

またメロン栽培は小面積から多額の収益が得られ、作業配分においても利点が多いため、若い農業後継者が魅力を感じています。

現在出荷されているのは、プリンスメロンが主流で、二月上旬に種をまき、二月下旬につぎ木をしたものですが、五月中旬に天候不順で低温があったため、最初の実が落ちてしまい、出荷当初は高値が続きました。

〔写真〕　繕沢の前川松雄君は、プリンスメロンを四十アール栽培、高値の時に出荷が多かったので、今年の成績は今まで最高とか……。

非行化の季節をむかえ 町ぐるみの運動を

私たちの社会から犯罪や非行をなくして明るく住みよい社会を築くため、この七月を「社会を明るくする運動」強調月間として運動目標を〝青少年の非行防止と住民の参加〟において全県下にわたって展開されています。

最近の急速な経済社会の発展は、豊かな田園の生活にも影響を与え、消費生活を追求するあまり、人びとの生活意識のなかに個人中心の考えかたが浸透して、社会的連帯感がしだいにうすれていく傾向にあるように思われます。

これからの社会をになう青少年を健全に育成すること、特にその非行を防ぐことは、だれもが願うところですがそのためには、一部関係者にまかせておくだけでなく、町民が一体となって青少年の非行防止と非行に陥いった者の更生に愛の手をさしのべ、希望にみちた青少年をはぐくむ明るい地域社会づくりに協力してください。

この運動は麻生地区保護司会と社会を明るくする運動麻生町実施委員会が中心となって推進しています。

〈標　語〉

○町ぐるみ村ぐるみ
　明るい社会

○暴力は
　明るい社会を暗くする

○愛の手で
　きづく明るいよい社会

○ひとの子に
　わが子と同じ愛の手を

○力をあわせて築く
　非行のない社会

○おたがいに
　心のふれあう明るい社会

みんなで 住民検診を

結核が個人や社会に及ぼす害を防ぎ公共の福祉を増進するための結核予防法によって健康診断を日程のとおりおこないます。

昔は遺伝と思われていた結核は伝染病で、いつどこで感染し発病するかわかりません。

結核患者で十人のうち八人くらいは自分が結核であることに気づかず重症の患者でも結核にかかっていることを知らない人が多くいます。

町の結核患者は、昭和四十五年十二月現在で百二十五人おり、このうち治療している人六十一人で半数以上の人が治療をしていません。

年一回おこなう健康診断を受けたり、予防接種をすることによって、結核は完全に予防でき早く治療すれば治りますので全員が受診してください。

仕事の都合などで受診できなかった人は、後日に潮来保健所へおいでいただくことになります。

住民健診日程

期日	時間	場所
7・20(火)	午前 9.00～11.00	行方中跡
	午后 1.00～ 3.00	行方幼稚園
7・21(水)	午前 9.00～11.00	今宿集会所
	午后 1.00～ 3.00	於下集会所
7・22(木)	午前 9.00～11.00	島並分校
	午后 1.00～ 3.00	小高農協
7・23(金)	午前 9.00～11.00	橋門集荷所
	午后 1.00～ 3.00	小高分館
7・26(月)	午前 9.00～11.00	繕沢児童会館
	午后 1.00～ 3.00	井貝児童会館
7・27(火)	午前 9.00～11.00	小高谷集会所
	午后 1.00～ 3.00	新原集会所
7・28(水)	午前 9.00～11.00	大和第三小
	午后 1.00～ 2.00	宇崎協同作業所
	午后 2.30～ 4.00	石神集会所
7・29(木)	午前 9.00～11.00	大和第一小
	午后12.30～ 2.00	天掛観音寺
	午后 2.30～ 4.00	新宮西照寺
7・30(金)	午前 9.00～11.00	岡、箕輪庄兵衛前
	午后 1.00～ 3.00	大和公民館

矢幡、根小屋部落民は移動保健所にて実施

保険医辞退をむかえ

七月一日から保険医辞退がおこなわれ、各方面から不安がもたれていますが、直接影響のある国民健康保険と茨城県市町村職員組合以外の社会保険に加入している人は、次の点に注意してください。

保険医辞退により自由診療になるので高い料金をとられても文句をいえないことになるので、トラブルのおきないよう公的病院や保険医を辞退しない病院の利用をしてください。

保険医のいる公立病院や一般の病院にかかれないときは保険医を辞退した病院へ行くことになりますがその際は、領収明細書を書いてもらうなど勤務先の社会保険事務所の指示に従ってください。

行方郡内で保険医を辞退していない病院は次のとおりです。

○高須厚生堂　（大字天掛）
○麻生町国保第一診療所　（大字麻生）
○麻生町国保診療所　（大字蔵川）
○久保医院　（牛堀町）
○方波見病院　（牛堀町）
○潮来町国保診療所　（潮来町）

戸籍の窓口

〈おめでた〉

氏名	世帯主	住所
若本由里子	繁	富田
柳町　雅久	清治	粗毛
浅野　秀男	善吾	〃
石神富士雄	富一	麻生
深沢　夏子	半四郎	〃
菊地　大輔	龍一	〃
兼平　律子	愛子	〃
吉川　秀和	ナカ	〃
小倉　昌久	内堀いん	〃
石川みさ子	君江	根小屋
松兼　容子	勇	島並
大貫　宏光	正行	南
額賀　敏博	銑蔵	〃
小山田美也子	誠	井貝
額賀　健一	清	〃
関口二三夫	佐平	於下
新治　裕子	春治	行方
中城　直士	善正	〃
根本　久美	正相	〃
根本　香織	忠良	〃
中野　勝則	弘平	宇崎
藤崎　英一	まさ	新宮
宮内こずえ	辰雄	四鹿
関川　健市	伊三郎	小牧
関川　弘幸	〃	〃
辺田　薫	道春	〃

〈おくやみ〉

柳町　好江	清治	粗毛
矢畑　むつ	考一	麻生
谷田川ハル	辰雄	矢幡
吉田　まつ		根小屋
八品　庄市	チヨ	島並
高崎　スエ	年	〃
板橋　やす	一男	井貝
内山　実	進	〃
浜田　金蔵	幸雄	於下
藤崎　欽一	まさ	新宮
平山　すい	孫次	〃
辺田　盛作	保	宇崎
拓植　末松	俊男	〃
横山　きよ	清衛	青沼
荒張　まつ	竹松	白浜
宮崎　よし	隆之助	岡